

平成18年度 事業報告書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

学校法人 東筑紫学園

目 次

1. 法人の概要	1
設置する学校・学部・学科等	1
当該学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況	1
役員・教職員の概要	1
学校法人 東筑紫学園の概要(組織図)	2
設置学校の所在地	2
2. 事業の概要	3
3. 財務の概要	5
(1) 資金収支計算書概要	5
(2) 消費収支計算書概要	6
(3) 貸借対照表概要	7
(4) 消費収支計算書、貸借対照表関係財務比率	8
(5) 在籍学生数、総定員充足率、帰属収入、借入金残高の推移	9

1 法人の概要

法人の名称 学校法人東筑紫学園
 住 所 北九州市小倉北区下到津五丁目1番1号
 創立年月日 昭和11年3月3日

(1) 設置する学校・学部・学科等 (平成18年4月1日現在)

設置する学校	学部 学科名
九州栄養福祉大学・大学院	大学院 食物栄養学研究科 食物栄養学部食物栄養学科
東筑紫短期大学	生活文化学科、美容ファッションビジネス学科 保育学科、食物栄養学科、専攻科
専門学校九州リハビリテーション大学校	理学療法学科、作業療法学科
東筑紫学園高等学校	全日制課程
照曜館中学校	
東筑紫短期大学附属幼稚園	

(2) 当該学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況 (平成18年5月1日現在)

設置する学校・学部・学科	入学定員	在籍者数					計
		1年	2年	3年	4年		
九州栄養福祉大学 大学院	4	2	2	-	-	4	
九州栄養福祉大学 食物栄養学部	100	115	105	115	110	445	
東筑紫短期大学	生活文化学科	1	53	-	-	54	
	美容ファッションビジネス学科	85	88	0	-	88	
	保育学科	200	248	231	-	479	
	食物栄養学科	100	111	109	-	220	
	専攻科(介護福祉専攻)	30	15	-	-	15	
九州リハビリテーション大学校	理学療法学科	80	88	48	34	170	
	作業療法学科	40	45	42	40	127	
東筑紫学園高等学校	450	442	350	369	-	1,161	
照曜館中学校	100	98	93	117	-	308	
東筑紫短期大学附属幼稚園	240	52	86	94	-	232	
計	1,429	1,305	1,119	769	110	3,303	

(3) 役員・教職員の概要

役員 (平成18年5月1日現在)

理事長 宇城照耀
 常務理事 室井廣一
 理事 寺井正夫、西田田鶴子、大里進子、大橋登美男
 明城康男、丹下八郎、永濱初子、出口榮二
 監事 中村一利
 評議員 27名

教職員

設置する学校	専任教員 (常勤含む)	非常勤	計	専任職員 (常勤含む)	非常勤	計
九州栄養福祉大学	27	34	61	16	1	17
東筑紫短期大学	41	63	104	25	8	33
専門学校九州リハビリテーション大学校	13	25	38	6	0	6
東筑紫学園高等学校	74	15	89	18	0	18
照曜館中学校	13	1	14	2	0	2
東筑紫短期大学附属幼稚園	14	2	16	0	0	0
法人事務局	0	0	0	3	0	3
計	182	140	322	70	9	79

学校法人 東筑紫学園の概要 (平成18年4月1日現在)



設置学校の所在地 (平成18年4月1日現在)

- ・ 九州栄養福祉大学・大学院 福岡県北九州市小倉北区下到津5 - 1 - 1
- ・ 東筑紫短期大学 福岡県北九州市小倉北区下到津5 - 1 - 1
- ・ 東筑紫学園高等学校 福岡県北九州市小倉北区清水4 - 10 - 1
- ・ 照曜館中学校 福岡県北九州市小倉北区清水4 - 10 - 1
- ・ 東筑紫短期大学附属幼稚園 福岡県北九州市小倉北区下到津5 - 3 - 14
- ・ 専門学校九州リハビリテーション大学校 福岡県北九州市小倉南区葛原高松1 - 5 - 1

2 事業の概要

学校法人東筑紫学園

～ 21 世紀の新たな歩み - 創立 70 周年記念式典・祝賀会開催～

本学園は、昭和 11 年に筑紫洋裁女学院として呱呱の声を上げましたが、平成 18 年 3 月 3 日をもって満 70 周年を迎えることができました。平成 18 年 12 月 4 日、北九州市内のホテルにおいてご来賓・後援会役員・旧職員等多数のご出席を得て創立 70 周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。

九州栄養福祉大学

～ 食を通して福祉の実現をめざす管理栄養士養成専門大学～

- ・管理栄養士国家試験 合格率 94.4% 3 年連続福岡県 1
- ・九州栄養福祉大学大学院 食物栄養学研究科修士課程 第一期生修了卒業

九州栄養福祉大学は、平成 17 年 4 月に大学院食物栄養学研究科修士課程を設置、本年度は完成年度を迎え、第一期大学院生が修了卒業しました。また、今年も管理栄養士国家試験において第三期卒業生（全卒業生数 109 名）のうち 107 名が受験し 101 名が合格、合格率 94.4% という好成績を収め、管理栄養士養成施設校として 3 年連続福岡県内でトップの合格率を達成いたしました。

東筑紫短期大学

～ 昭和 11 年筑紫洋裁女学院より 73 年にわたる「生活実学」の伝統をもつ都市型短期大学～

- ・高度な専門教育に裏打ちされた高い就職率 97%（短期大学総計）
（生活文化学科 95%、保育学科 98%、食物栄養学科 93%、専攻科 100%）
- ・「美容ファッションビジネス学科」新設 第一期生 88 名が入学

東筑紫短期大学においては、本年より生活文化学科の募集を停止し、美容師国家資格を始めとする各種資格取得を目指す「美容ファッションビジネス学科」を設置し、定員を上回る入学者を確保しました。施設関係では、建物の耐震診断・耐震化工事に着手し、本年度は号館の耐震診断を実施いたしました。また、警備員を常駐させ昼間の警備を一層充実させるために警備員詰所を設置し、キャンパスのセキュリティを強化いたしました。保育学科では、情報処理学受講生増加のため新たにパソコンを 51 台購入しました。

専門学校九州リハビリテーション大学校

～ ここは、日本リハビリテーション発祥の地...まほろば～

- ・就職率 100% 第一期卒業生全員（理学療法学科 34 名、作業療法学科 32 名）が就職！
- ・高い国家試験合格率（理学療法士 100%、作業療法士 85.3%）

専門学校九州リハビリテーション大学校は、平成 16 年に旧労働福祉事業団より継承開学し、本年度は第一期卒業生を送り出しましたが、国家試験において理学療法士 100%・作業療法士 85.3%（卒業生 66 名全員が受験）という高い合格率を上げ、合格者全員が公的な病院等に就職いたしました。本学は平成 19 年度から高度専門士課程の四年制専門学校に移行し、今後も旧リ八大同様にリハビリテーションの先駆的役割を果たすべく教室・実習室等の整備を進めております。

東筑紫学園高等学校

～自分らしく輝く未来 あなたの「夢」見つけてください。～

東筑紫学園高等学校においては、総合課程部では1年生・2年生時に外部講師を招聘し、「ニート・フリーター対策講習会」を開催する等進路に対する意識を啓発し、2年生では各大学・短大・専門学校等の講師による模擬講義を開催し進路の適性把握や選択に役立つ教育を推進しております。照曜館高校部では、朝課外をはじめ進路に合わせた多彩なカリキュラムで、教科毎に実践的に授業を運営しました。

照曜館中学校

～夢を育む6年間。未来を語りあえる友がいる。ここがあなたのスタートライン！～

照曜館中学校では、学習面・生活面ともにきめ細かな指導を行い、中高一貫教育の利点を生かした独特のカリキュラムによる教科指導を実施すると共に、実社会の動きに対しても興味を抱かせるために裁判官出張模擬講義を実施しました。また、自動体外式除細動器（AED）を購入し、全職員を対象に心肺蘇生法講習会を実施する等、厚生面における危機管理体制の充実を図りました。

東筑紫短期大学附属幼稚園

～感謝する心を持った子どもに育てる
健康でたくましくのびのびとした子どもに育てる
情操豊かで創造性に富む子どもに育てる～

東筑紫短期大学附属幼稚園では、平成18年度の年間保育計画に沿って行事等を実施いたしました。保育・環境整備両面の充実のため、昨年度より通園バス3台体制で通園時間の短縮を図るとともに、各学年にパソコンを購入し、配布物・各種記録が迅速に処理できるようにいたしました。一昨年に開始した九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学との共催による子育て支援推進事業も3年目を迎え、今年度は『子育て・親育ちの会』を6回、リトミック集中講義を5回開催する等一層の充実発展を期しております。

3 財務の概要

資産・負債の概要

本学園の資産総額は146億8,607万円で前年度末に対して2.4%増加、負債総額は28億2,103万円で前年比5.6%減少、また資産総額から負債総額を引いた純資産額は118億6,505万円で前年比4.5%増加しました。

取得資産の主なものは、建物(リハ大四年制化に伴う教室改造)や構築物(キャンパス環境整備)などの施設、及び教育研究用機器備品、図書のほか、各引当特定預金等への繰入を行いました。

また、負債の部では高等学校借入金返済予定額1億3,840万円を返済しました。

資金収支計算書概要

平成18年4月1日から
平成19年3月31日まで

(単位:千円)

学生生徒等からの授業料や入学金などです。

大学・短期大学・専門学校学生寮の収支を純額で表示しています。

主なものは私学退職金団体からの交付金収入です。

入学金及び翌年度授業料等です。

期末未収入金と前期末前受金から成ります。

・取得した施設の主なものは以下の通りです。

専門学校 - 教室改造工事(1,890万円)
大学 - 生ゴミ処理機(394万円)
短大 - 警備員詰所設置(147万円)

教育研究用機器備品や図書などを取得するための支出です。

期末未払金です。

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,470,548	2,473,569	3,021
手数料収入	70,155	70,699	544
寄付金収入	71,048	72,426	1,378
補助金収入	687,752	699,886	12,134
国庫補助金収入	165,662	167,297	1,635
地方公共団体補助金収入	522,090	532,589	10,499
資産運用収入	8,270	8,924	654
事業収入	25,000	31,703	6,703
雑収入	136,401	158,508	22,107
前受金収入	552,635	592,613	39,978
その他の収入	360,876	368,044	7,168
資金収入調整勘定	764,276	759,677	4,599
前年度繰越支払資金	2,286,130	2,286,130	
収入の部合計	5,904,539	6,002,825	98,286

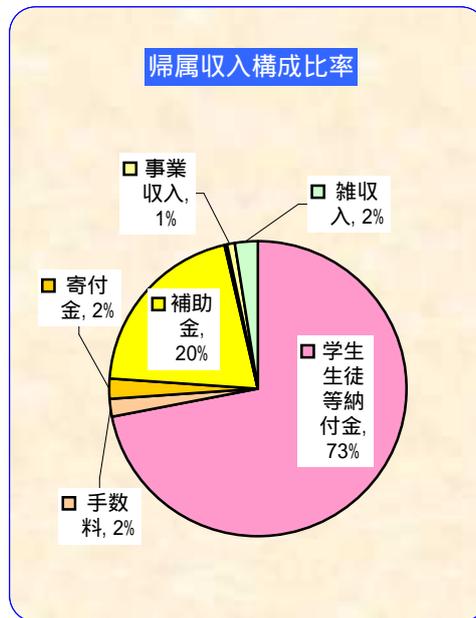
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	2,104,014	2,013,624	90,390
教育研究経費支出	484,305	437,409	46,896
管理経費支出	259,260	231,190	28,070
借入金等利息支出	25,790	25,785	5
借入金等返済支出	138,400	138,400	0
施設関係支出	25,160	25,128	32
設備関係支出	62,810	59,310	3,500
資産運用支出	874,550	874,494	56
その他の支出	34,070	38,945	4,875
(予備費)	(0)		10,600
資金支出調整勘定	8,500	8,454	46
次年度繰越支払資金	1,894,080	2,166,994	272,914
支出の部合計	5,904,539	6,002,825	98,286

消費収支計算書概要

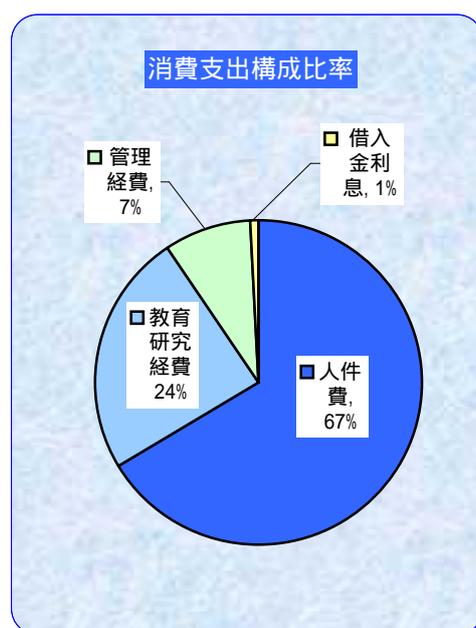
平成18年 4月 1日から
平成19年 3月31日まで

(単位:千円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	2,470,548	2,473,569	3,021
手数料	70,155	70,699	544
寄付金	71,048	72,426	1,378
補助金	687,752	699,886	12,134
国庫補助金	165,662	167,297	1,635
地方公共団体補助金	522,090	532,589	10,499
資産運用収入	8,270	8,924	654
事業収入	25,000	31,703	6,703
雑収入	62,701	84,814	22,113
帰属収入合計	3,395,474	3,442,021	46,547
基本金組入額合計	196,840	192,491	4,349
消費収入の部合計	3,198,634	3,249,530	50,896



消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	2,033,210	1,943,691	89,519
教育研究経費	760,595	713,628	46,967
(うち減価償却額)	(276,290)	(276,219)	(71)
管理経費	274,590	246,456	28,134
(うち減価償却額)	(15,330)	(15,266)	(64)
借入金等利息	25,790	25,785	5
徴収不能額	2,200	1,941	259
徴収不能引当金繰入額	565	506	59
〔予備費〕	(0)	10,600	10,600
消費支出の部合計	3,107,550	2,932,007	175,543
当年度消費収入超過額	91,084	317,523	
前年度繰越消費支出超過額	448,260	448,260	
翌年度繰越消費支出超過額	357,176	130,737	



学校法人会計基準第29条では、「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その帰属収入のうちから組入れた金額を基本金とする」と定めています。

貸借対照表概要

平成19年3月31日

(単位:千円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	12,093,094	11,696,379	396,715
有形固定資産	10,223,505	10,430,552	207,047
土地	2,963,705	2,963,705	0
建物	6,431,300	6,595,398	164,098
その他の有形固定資産	828,500	871,449	42,949
その他の固定資産	1,869,589	1,265,827	603,762
流動資産	2,592,980	2,645,850	52,870
現金預金	2,166,994	2,286,130	119,136
その他の流動資産	425,986	359,720	66,266
資産の部合計	14,686,074	14,342,229	343,845

特定預金への繰入です。

負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,781,435	1,916,073	134,638
長期借入金	1,293,600	1,432,000	138,400
その他の固定負債	487,835	484,073	3,762
流動負債	1,039,590	1,071,121	31,531
短期借入金	138,400	138,400	0
その他の流動負債	901,190	932,721	31,531
負債の部合計	2,821,025	2,987,194	166,169

翌年度高等学校借入金返済予定額です。

当年度高等学校借入金返済額です。

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	11,758,786	11,566,295	192,491
第3号基本金	30,000	30,000	0
第4号基本金	207,000	207,000	0
基本金の部合計	11,995,786	11,803,295	192,491

資産の増加額です。

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	130,737	448,260	317,523
消費収支差額の部合計	130,737	448,260	317,523

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	14,686,074	14,342,229	343,845

消費収支計算書関係財務比率

比率	算式 (×100)	評価指標	本学	全国平均
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	~	71.9	72.6
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$		56.5	51.3
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$		20.7	28.5
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$		20.3	12.5
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$		14.8	9.6
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$		7.2	8.5

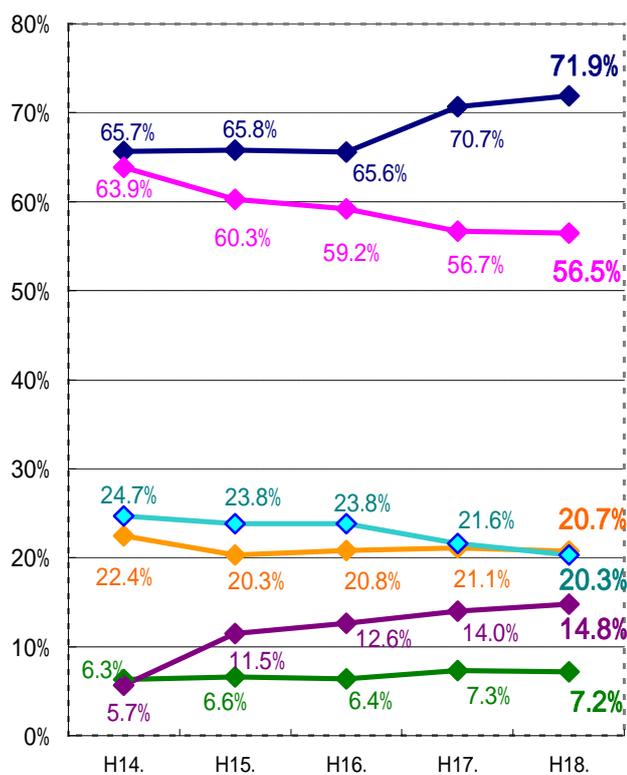
評価指標
 :高い値が良い
 :低い値が良い
 ~:どちらとも言えない

全国平均:「今日の私学財政」(日本私立学校振興・共済事業団)による
 医歯系法人を除く大学法人の平成17年度平均値

貸借対照表関係財務比率

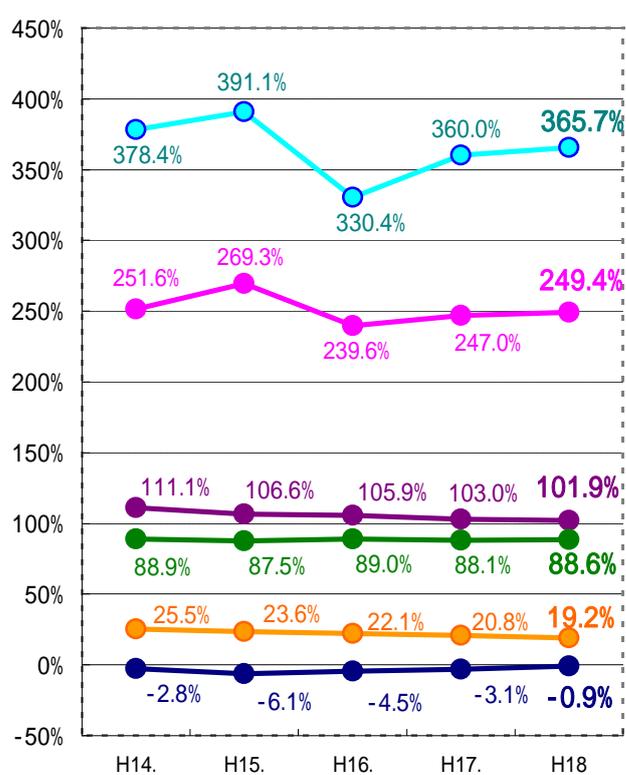
比率	算式 (×100)	評価指標	本学	全国平均
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$		365.7	315.0
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$		249.4	253.0
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$		101.9	98.7
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金} + \text{固定負債}}$		88.6	90.5
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$		19.2	13.6
消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$		-0.9	-2.6

消費収支計算書関係財務比率の推移



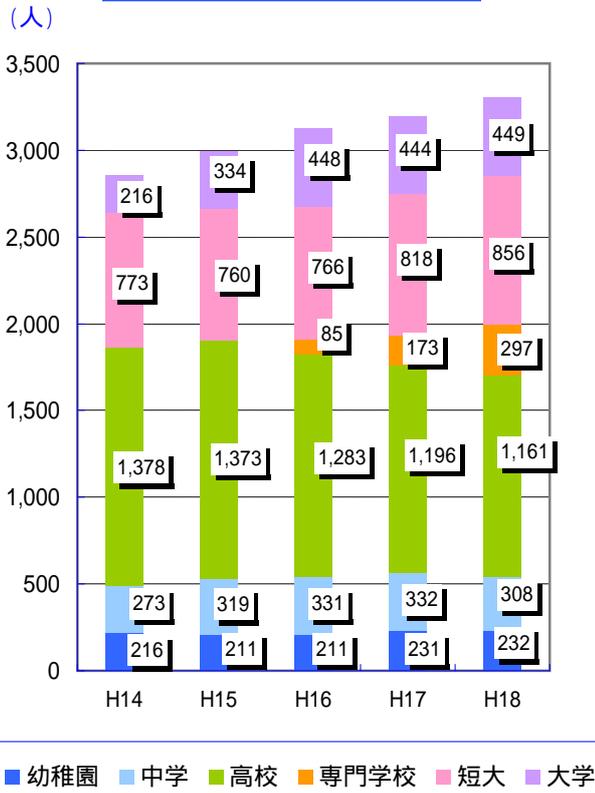
◆ 学生生徒等納付金比率 ◆ 人件費比率
 ◆ 教育研究経費比率 ◆ 補助金比率
 ◆ 管理経費比率 ◆ 帰属収支差額比率

貸借対照表関係財務比率の推移

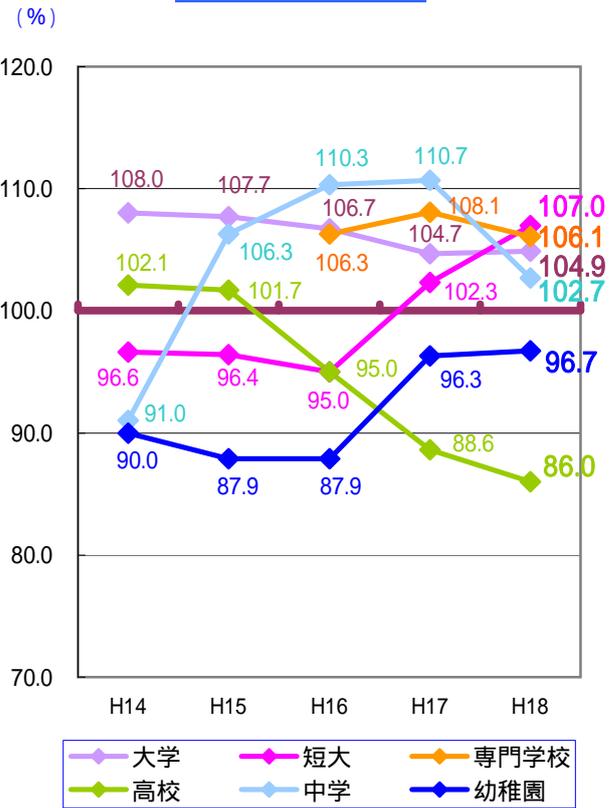


◆ 消費収支差額構成比率 ◆ 流動比率
 ◆ 総負債比率 ◆ 固定比率
 ◆ 固定長期適合率 ◆ 前受金保有率

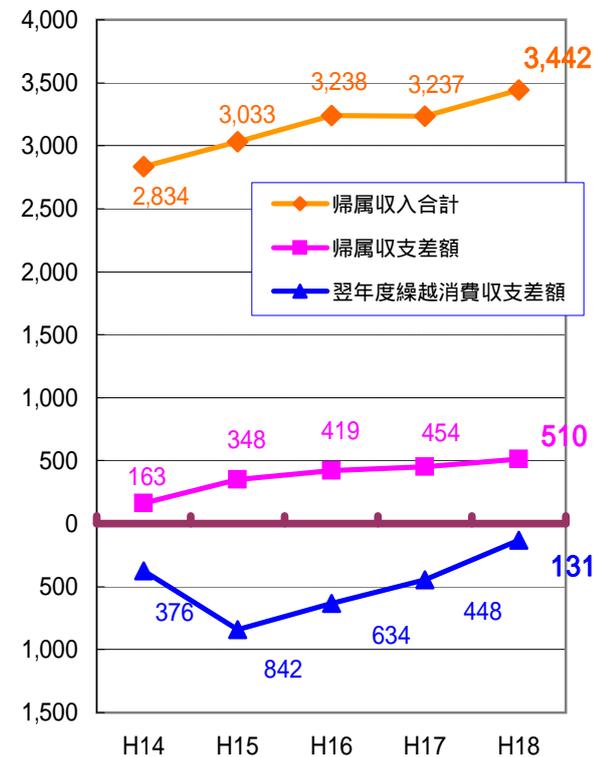
在籍学生数の推移 (5月1日現在)



総定員充足率の推移



金額 (百万円) 帰属収入と帰属収支差額の推移



金額 (百万円) 借入金残高の推移

